

岡山県感染症週報

2012 年 第 1 週（1 月 2 日～1 月 8 日）

【お知らせ】次回、第 2 週（1/9～1/15）感染症週報は、1 月 23 日（月）にホームページに掲載いたします。

岡山県は、インフルエンザ注意報発令中です。

◆2012 年 第 1 週（1/2～1/8）の感染症発生動向（届出数）

■全数把握感染症の発生状況

報告はありませんでした。

■定点把握感染症の発生状況

○多くの感染症で前週と比べ減少しましたが、年始の医療機関休診の影響によるものと考えられます。

○インフルエンザは、県全体で 654 名（定点あたり 7.79 人）の報告があり、前週より若干減少しました。

○感染性胃腸炎は、ほとんどの地域で減少しました。

【第 2 週 速報】○インフルエンザとみられる臨時休業がありました。

▽岡山市 4

1. **インフルエンザ**は、県全体で 654 名（定点あたり 7.79 人）の報告があり、前週（定点あたり 8.89 人）より減少しました。例年、学校等の冬季休暇終了後から流行が拡大する傾向がありますので、今後の動向に注意が必要です。県内の発生状況・臨時休業情報などは『[インフルエンザ情報](#)』をご覧ください。
第 52 週（12/26～1/1）速報値によると、全国では定点あたり 3.75 人。第 49 週に流行の目安となる 1.00 人を上まわり、増加がつづいています。岡山県は第 52 週 8.89 人であり、全国でも高い報告数になりました。
2. **感染性胃腸炎**の定点あたり患者数は、ほとんどの地域で減少しました（定点あたり 11.13→7.17 人）。詳しい県内の発生状況は『[感染性胃腸炎情報](#)』をご覧ください。

【週報グラフ表示について】

今週より、咽頭結膜熱・手足口病・伝染性紅斑・突発性発疹・百日咳・ヘルパンギーナ・流行性耳下腺炎・急性出血性結膜炎・流行性角結膜炎・細菌性髄膜炎・無菌性髄膜炎・マイコプラズマ肺炎・クラミジア肺炎については、2012 年にグラフが切り替わりました。

春から秋にかけて流行が多い感染症は 1～52 週を 1 シーズンとして、秋から春にかけて流行が多い感染症は前年 27 週～今年 26 週を 1 シーズンとし、それぞれ感染症の流行する時期に応じてグラフを作成しています。

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ		★★★	RSウイルス感染症		★
咽頭結膜熱		★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		★
感染性胃腸炎		★★★	水痘		★★
手足口病		★	伝染性紅斑		★
突発性発疹		★★	百日咳		
ヘルパンギーナ			流行性耳下腺炎		★★
急性出血性結膜炎			流行性角結膜炎		★
細菌性髄膜炎			無菌性髄膜炎		
マイコプラズマ肺炎		★	クラミジア肺炎		

【記号の説明】

前週からの推移： 2 倍以上の減少 1.1～2 倍未満の減少 1.1 未満の増減

1.1～2 倍未満の増加 2 倍以上の増加

流行状況：空白 発生なし ★僅か ★★少し ★★★やや多い ★★★★★多い ★★★★★★非常に多い

※定点当たり患者数について、過去 5 年間の標準偏差値を 5 等分し、流行状況の目安として 5 段階で表示しています。

保健所別報告患者数

において

数字

は感染症マップにおいて レベル3

数字

は感染症マップにおいて レベル2

を示しています。

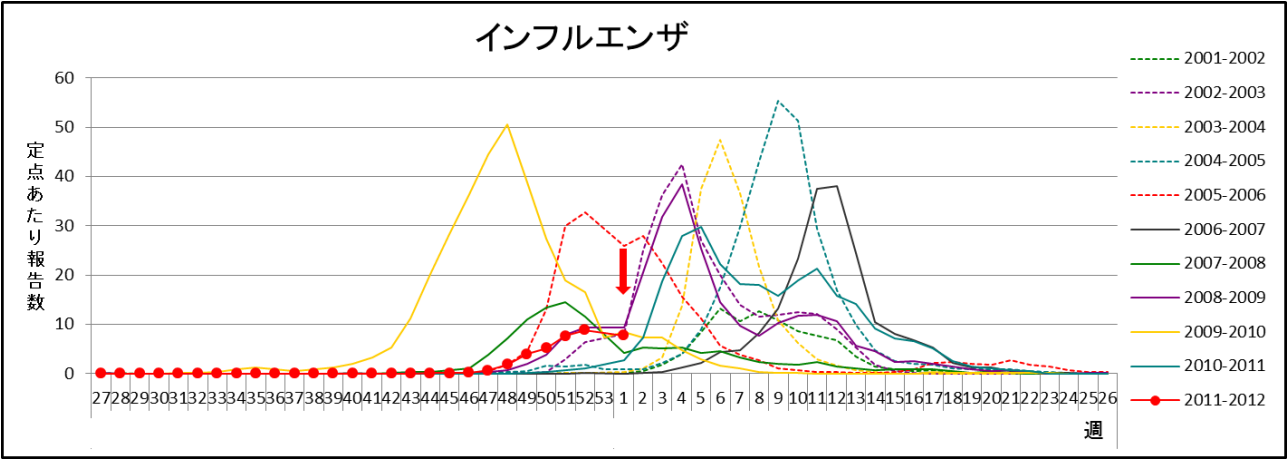
インフルエンザ情報 第 1 週 2012 年 1 月 2 日 ～ 1 月 8 日

岡山県は、インフルエンザ注意報発令中です。

岡山県の流行状況

- 岡山県内の患者報告数は 654 名（ 定点あたり 7.79 人 ）の報告があり、前週より減少しました。
 - 倉敷市では、感染症発生レベル 2 が継続しています。
 - インフルエンザによる入院報告が、7 名ありました。
- 【速報】第 2 週 インフルエンザとみられる臨時休業がありました。

▽1 月 10 日：岡山市 2 ▽1 月 11 日：岡山市 2



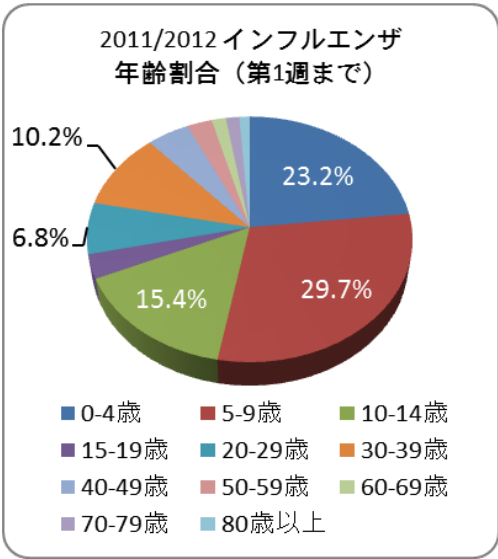
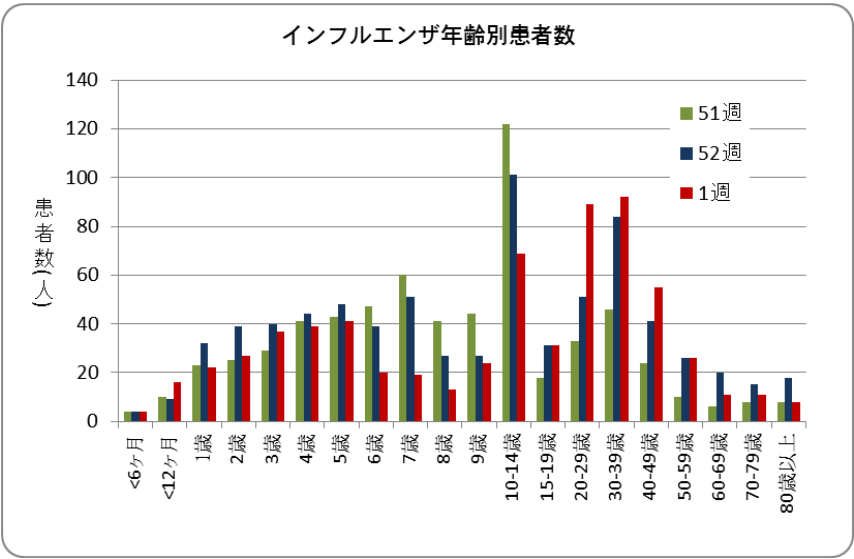
インフルエンザ患者数は 654 名（ 84 定点医療機関 定点あたり 7.79 人 ）の報告があり、前週（ 747 名 定点あたり 8.89 人 ）より減少しました。県全体では減少しましたが、備中地域（ 8.75 人 ）、備前地域（ 5.00 人 ）、備北地域（ 4.67 人 ）、岡山市（ 3.86 人 ）、真庭地域（ 3.67 人 ）、美作地域（ 3.30 人 ）では、前週と同様あるいは増加しました。倉敷市（ 19.81 人 ）では減少しましたが、他の地域に比べ患者が多い状態であり、第 49 週から感染症発生レベル 2 が継続しています。

インフルエンザによる入院患者が 7 名（ 幼児 1 名、30 代 1 名、70 代 1 名、80 代以上 4 名 ）報告されました。

例年、学校等の冬季休暇終了後から流行が拡大する傾向がありますので、今後の動向に注意が必要です。外出後や食事前の手洗いを徹底し、症状のある方はマスクを着用するなど咳エチケットに努めて下さい。

1 . 年齢別患者発生状況 第 1 週（ 1/2～1/8 ）

ほとんどの年齢層で患者が減少しましたが、20 代～40 代の成人で患者が増加しています。

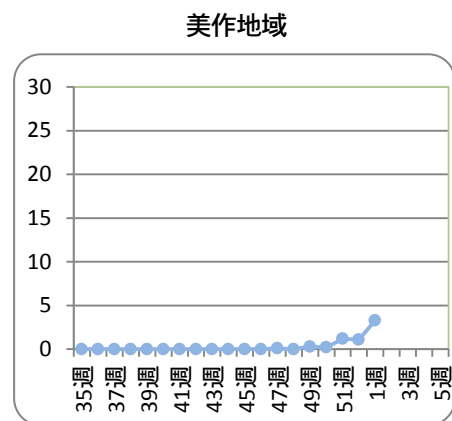
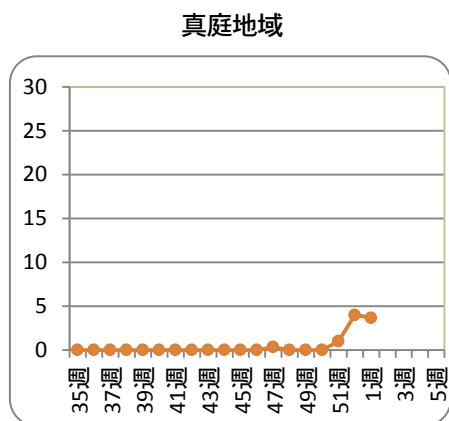
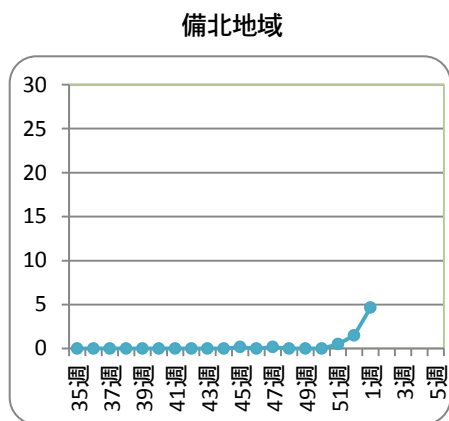
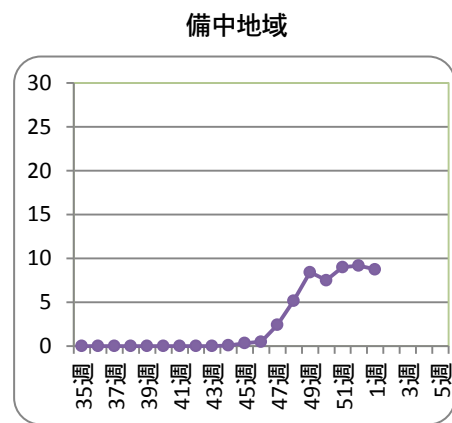
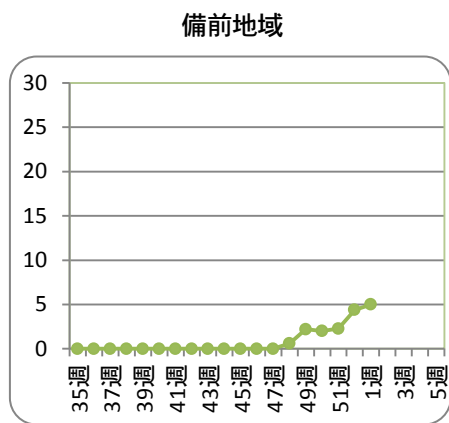
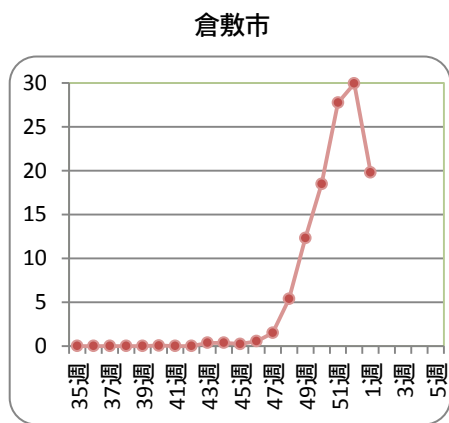
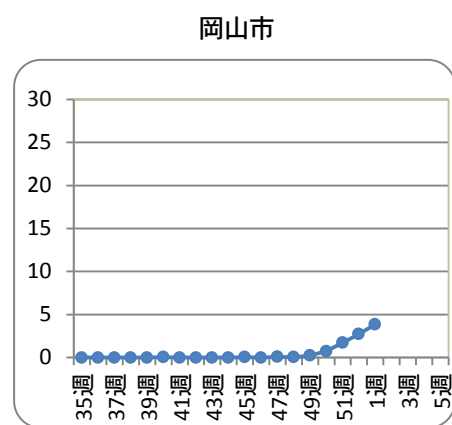
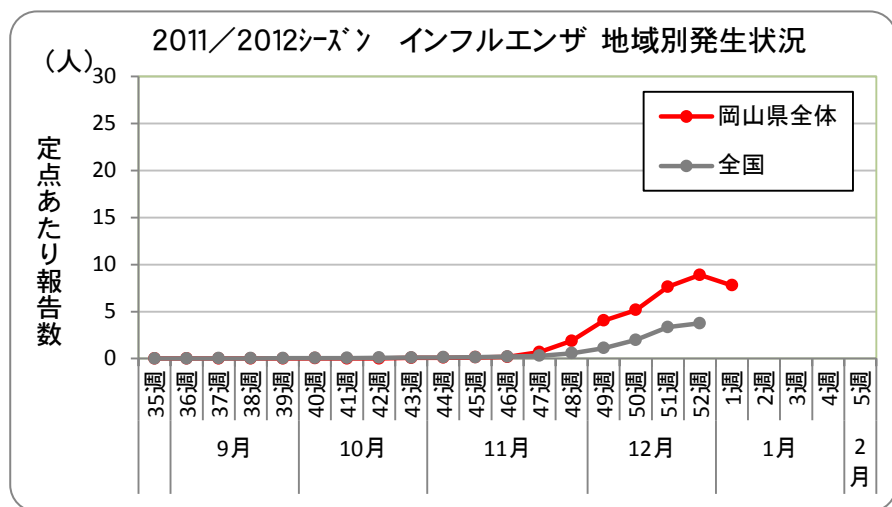


2. 地域別発生状況

第1週（1/2～1/8） 前週からの推移（単位：人）

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	654		備 中	患者数	105	
	定点あたり	7.79			定点あたり	8.75	
岡山市	患者数	85		備 北	患者数	28	
	定点あたり	3.86			定点あたり	4.67	
倉敷市	患者数	317		真 庭	患者数	11	
	定点あたり	19.81			定点あたり	3.67	
備 前	患者数	75		美 作	患者数	33	
	定点あたり	5.00			定点あたり	3.30	

【記号の説明】 前週からの推移：
 2倍以上の減少
 2倍以上の増加
 1.1～2倍未満の減少
 1.1～2倍未満の増加
 1.1未満の増減



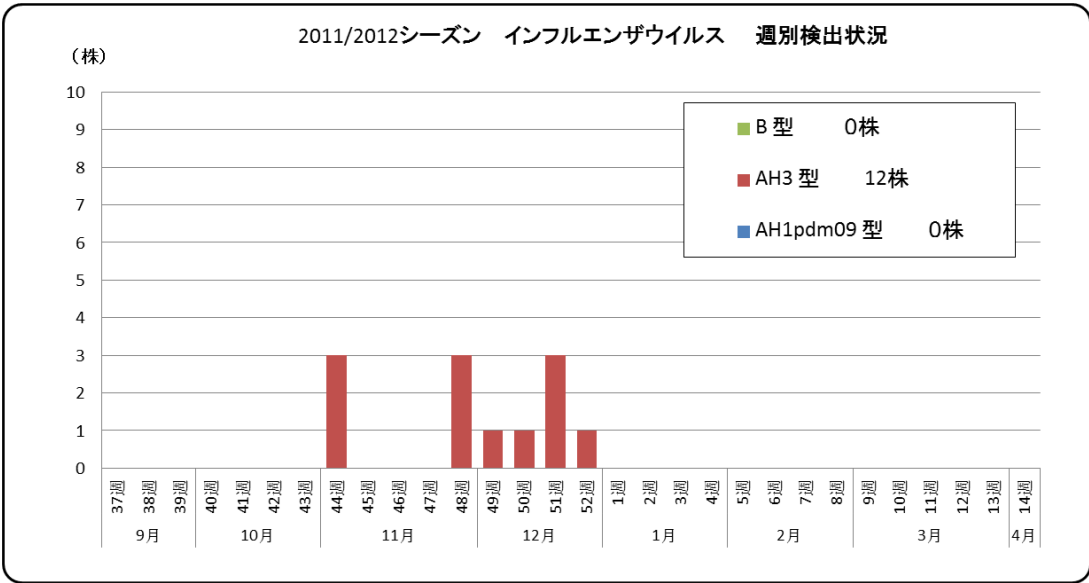
➤ インフルエンザウイルス検出状況

第 1 週（1/2～1/8）に検出されたインフルエンザウイルス

第 1 週、検出されたインフルエンザウイルスはありません。今シーズン、岡山県で検出されたウイルスは、すべて AH3 型です。

全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH3 型の割合が最も多く 89%、B 型が 10.5%、AH1 pdm09 型が 0.5% の順になっており、AH3 型が主流になっています。

(国立感染症情報センター インフルエンザウイルス分離・検出速報 2011/2012 シーズン)



➤ インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数 第 1 週（1/2～1/8）

1. 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

第 1 週、インフルエンザとみられる臨時休業はありませんでした。

第 1 週までの合計は、有症者数 872 名、うち欠席者数 610 名、臨時休業施設数は 41 施設になり、このうち約 70% が倉敷市からの報告です。

【第 2 週 速報値】学年閉鎖 1 施設（岡山市 1）、学級閉鎖 3 施設（岡山市 3）

（第 2 週発生の臨時休業数の掲載は、第 2 週週報で行います。）

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	—	872	—	610	—	41	—	3	—	5	—	33	H23. 10. 31
岡山市	—	22	—	6	—	1	—	—	—	—	—	1	H23. 12. 15
倉敷市	—	700	—	472	—	29	—	1	—	2	—	26	H23. 10. 31
備前地域	—	81	—	66	—	6	—	1	—	2	—	3	H23. 12. 5
備中地域	—	69	—	66	—	5	—	1	—	1	—	3	H23. 11. 30
備北地域	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
真庭地域	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
美作地域	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

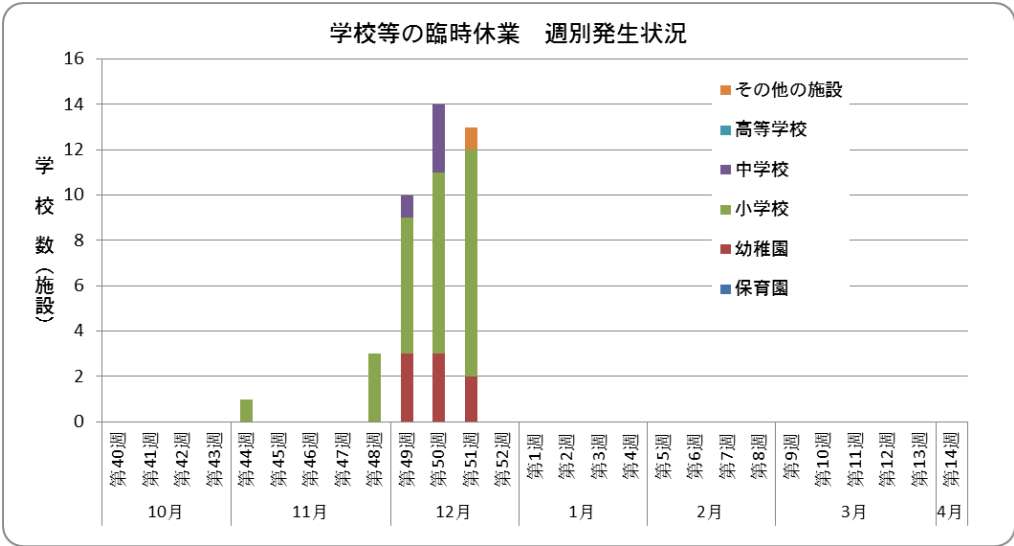
2. 臨時休業施設数の内訳 第1週（1/2～1/8）

第1週、学校等の臨時休業はありませんでした。

（第2週発生の臨時休業数内訳の掲載は、第2週週報で行います。）

第1週：0施設 累計：41施設

	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	—	—	—	8	—	28	—	4	—	—	—	1



➤ 入院時の状況と年齢別内訳の累計 第1週（1/2～1/8）まで

（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

第1週、インフルエンザによる入院患者の報告が7名（幼児1名、30代1名、70代1名、80代以上4名）ありました。

今シーズン、これまでに12名の入院患者報告があり、そのうち9名は70歳以上の高齢者の方です。

高齢者や慢性疾患・代謝疾患をお持ちの方、免疫機能が低下している方などでは重症化することがありますので注意が必要です。

* 平成23年9月5日以降に入院した各患者の累計数

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
ICU入室	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
人工呼吸器の利用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
頭部CT検査 （予定含む）	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—
頭部MRI検査 （予定含む）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—
脳波検査 （予定含む）	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—
いずれにも該当せず	—	—	—	1	—	—	1	—	—	—	1	6	—
計（一部重複あり）*	—	1	—	1	—	—	1	—	—	—	3	6	—



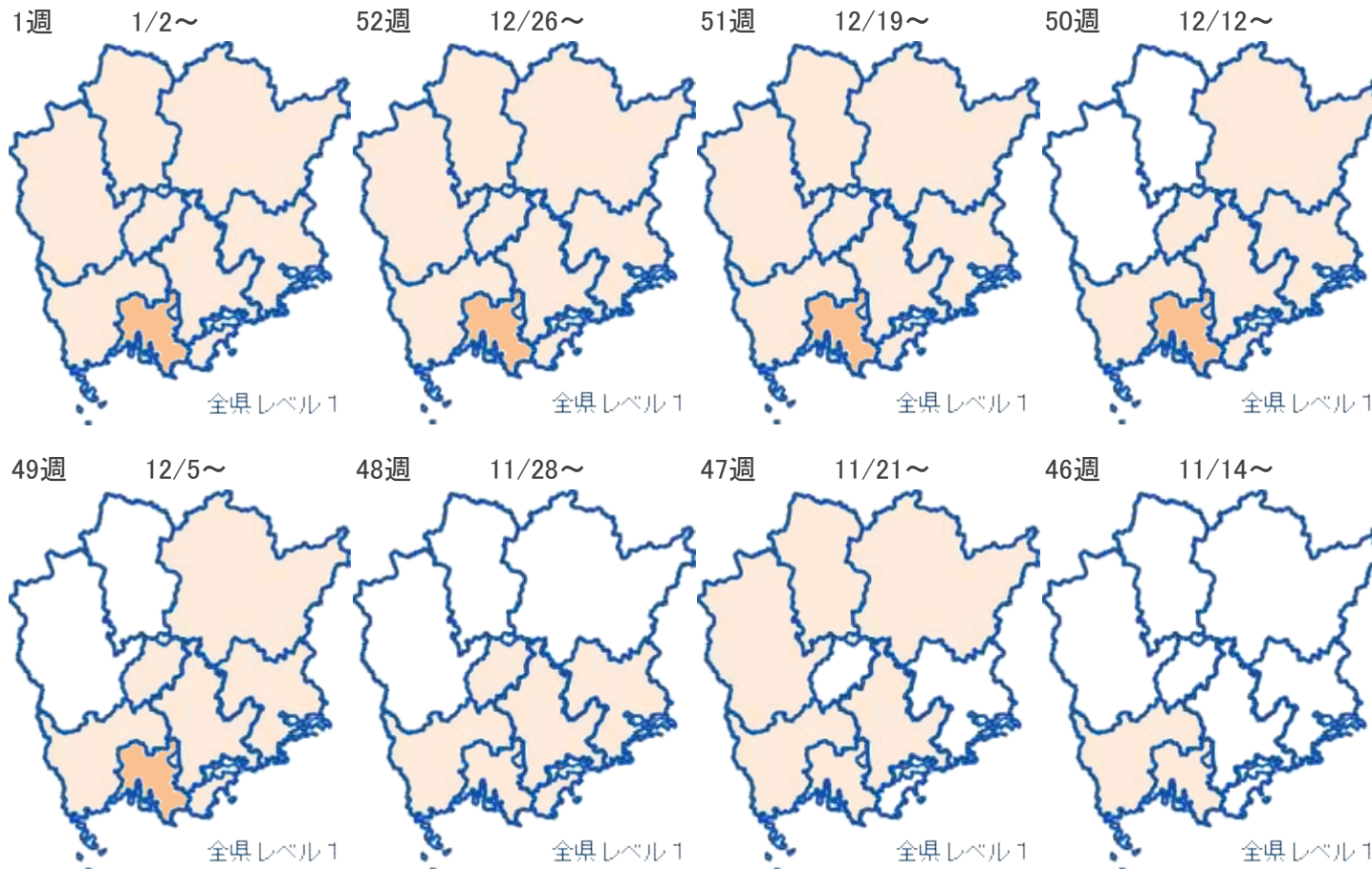
岡山県地区別 インフルエンザ感染症マップ 2012年 1週

2012年1月11日

13:45:25



インフルエンザ

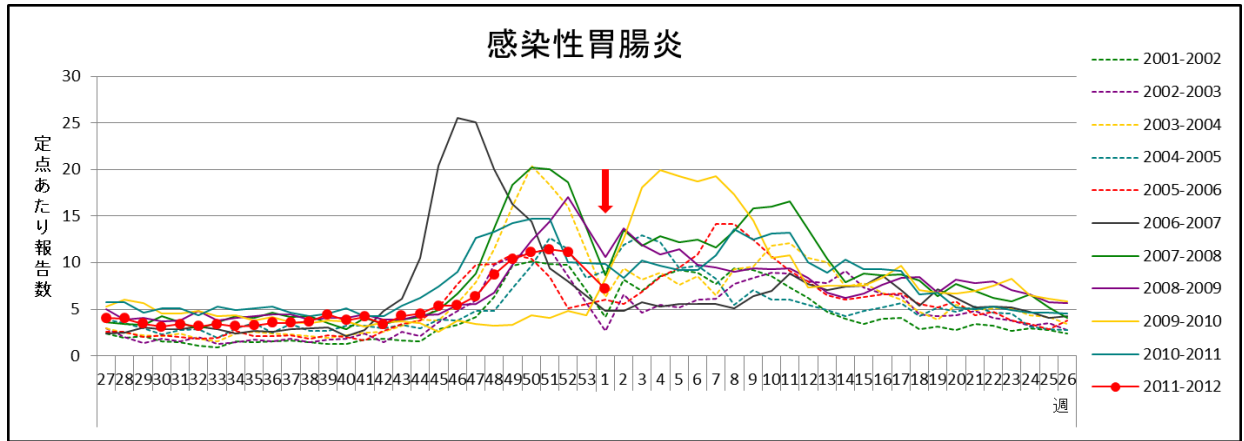


レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満	0 < 10 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。

感染性胃腸炎情報 第 1 週 2012 年 1 月 2 日～1 月 8 日

- 岡山県内の患者報告数は 387 名（ 定点あたり 7.17 人 ）で、前週より減少しました。
 ○県内ほとんどの地域で、減少しました。

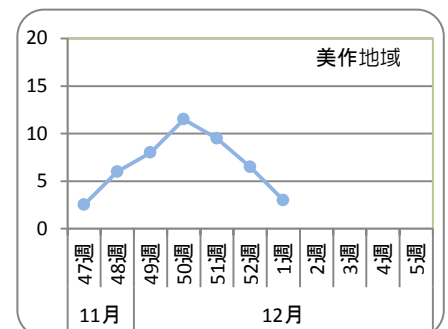
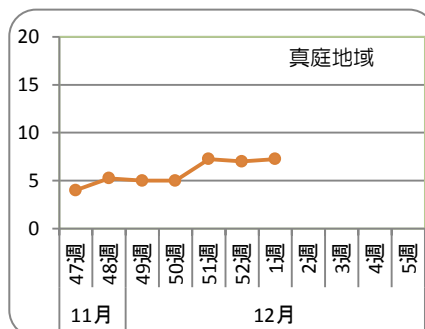
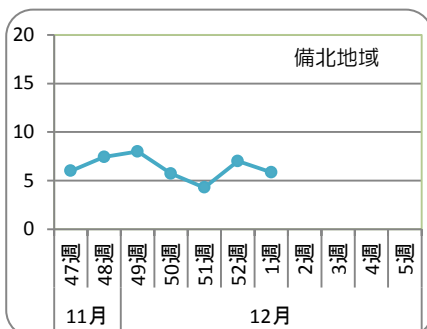
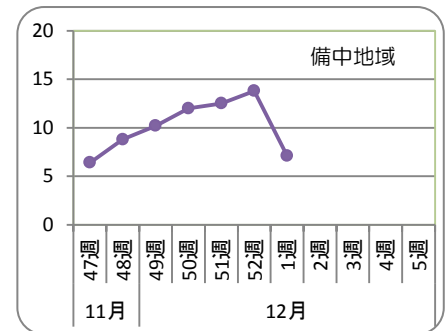
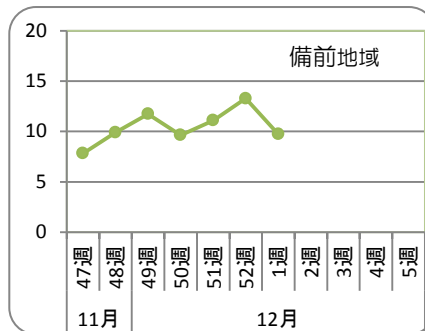
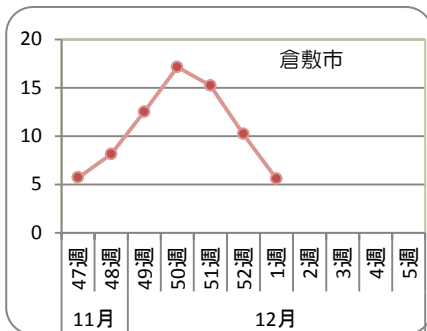
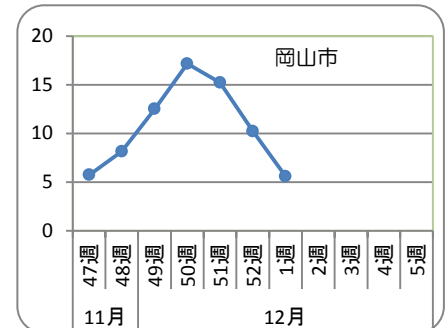
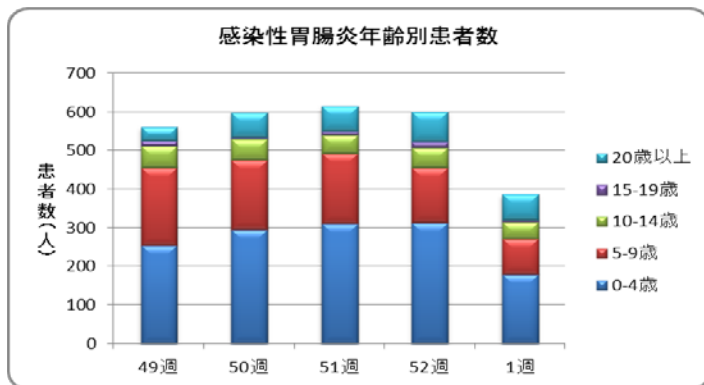


※感染性胃腸炎は、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、前年 27 週 ～ 今年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

感染性胃腸炎の定点あたり患者数は、前週より減少しました（ 54 定点医療機関 定点あたり 11.13 → 7.17 人 ）。患者の年齢分布は 0～4 歳の低年齢層が約半数を占めています。小さなお子さんや高齢者の方は、嘔吐や下痢により脱水症を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診してください。

今週は減少したものの、依然として流行しやすい時期ですので、手洗いを徹底するなど感染予防に努めましょう。冬の集団発生事例の原因はノロウイルスによるものが多いと言われ、現在、岡山県では『食中毒（ノロウイルス）注意報』を発令し、食中毒予防を呼びかけています。

○ノロウイルス感染症とその対応・予防（厚生労働省） ・ [家庭等一般の方々へ](#) ・ [医療従事者・施設スタッフ用](#)



保健所別報告患者数 2012年 1週 (2012/01/02～2012/01/08)

2012年1月11日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	654	7.79	85	3.86	317	19.81	75	5.00	105	8.75	28	4.67	11	3.67	33	3.30
RSウイルス感染症	26	0.48	6	0.43	6	0.55	3	0.30	2	0.29	—	—	1	0.50	8	1.33
咽頭結膜熱	6	0.11	4	0.29	1	0.09	1	0.10	—	—	—	—	—	—	—	—
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	20	0.37	5	0.36	10	0.91	—	—	2	0.29	—	—	—	—	3	0.50
感染性胃腸炎	387	7.17	78	5.57	107	9.73	71	7.10	41	5.86	29	7.25	6	3.00	55	9.17
水痘	74	1.37	36	2.57	12	1.09	10	1.00	3	0.43	—	—	7	3.50	6	1.00
手足口病	44	0.81	14	1.00	12	1.09	5	0.50	6	0.86	—	—	—	—	7	1.17
伝染性紅斑	6	0.11	1	0.07	—	—	—	—	1	0.14	—	—	1	0.50	3	0.50
突発性発疹	18	0.33	9	0.64	7	0.64	1	0.10	—	—	—	—	—	—	1	0.17
百日咳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性耳下腺炎	52	0.96	20	1.43	16	1.45	2	0.20	12	1.71	1	0.25	—	—	1	0.17
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	4	0.33	2	0.40	1	0.25	1	1.00	—	—	—	—	—	—	—	—
細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	3	0.60	1	1.00	2	2.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2012年 1週 (2012/01/02～2012/01/08)

2012年1月11日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	654	7.79	85	3.86	317	19.81	75	5.00	105	8.75	28	4.67	11	3.67	33	3.30
咽頭結膜熱	6	0.11	4	0.29	1	0.09	1	0.10	—	—	—	—	—	—	—	—
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	20	0.37	5	0.36	10	0.91	—	—	2	0.29	—	—	—	—	3	0.50
感染性胃腸炎	387	7.17	78	5.57	107	9.73	71	7.10	41	5.86	29	7.25	6	3.00	55	9.17
水痘	74	1.37	36	2.57	12	1.09	10	1.00	3	0.43	—	—	7	3.50	6	1.00
手足口病	44	0.81	14	1.00	12	1.09	5	0.50	6	0.86	—	—	—	—	7	1.17
伝染性紅斑	6	0.11	1	0.07	—	—	—	—	1	0.14	—	—	1	0.50	3	0.50
百日咳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性耳下腺炎	52	0.96	20	1.43	16	1.45	2	0.20	12	1.71	1	0.25	—	—	1	0.17
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	4	0.33	2	0.40	1	0.25	1	1.00	—	—	—	—	—	—	—	—

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2012年 第1週 2012/01/02～2012/01/08)

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ	654	4	16	22	27	37	39	41	20	19	13	24	69	31	89	92	55	26	11	11	8

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～
RSウイルス感染症	26	14	5	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	6	-	1	1	1	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	20	-	-	2	1	3	1	4	2	3	-	1	3	-	-
感染性胃腸炎	387	5	21	59	37	41	17	28	18	14	16	15	44	6	66
水痘	74	1	7	14	11	10	9	6	2	3	5	2	4	-	-
手足口病	44	-	2	8	12	11	3	2	1	2	2	1	-	-	-
伝染性紅斑	6	-	-	-	-	1	1	-	2	1	-	1	-	-	-
突発性発疹	18	-	4	12	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	52	-	-	2	3	8	5	9	7	6	2	3	6	1	-

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	3	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

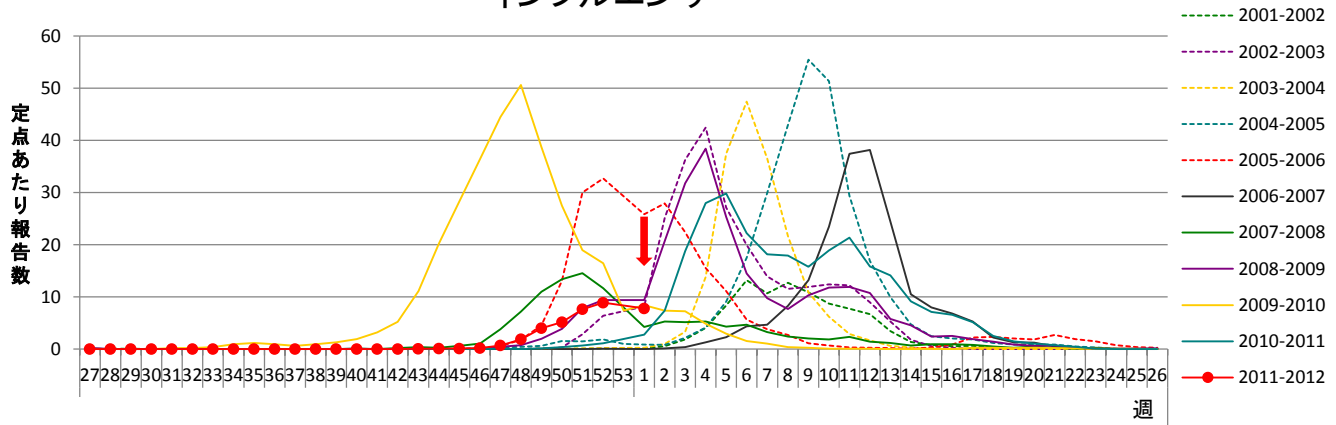
(- : 0)

全数把握 感染症患者発生状況

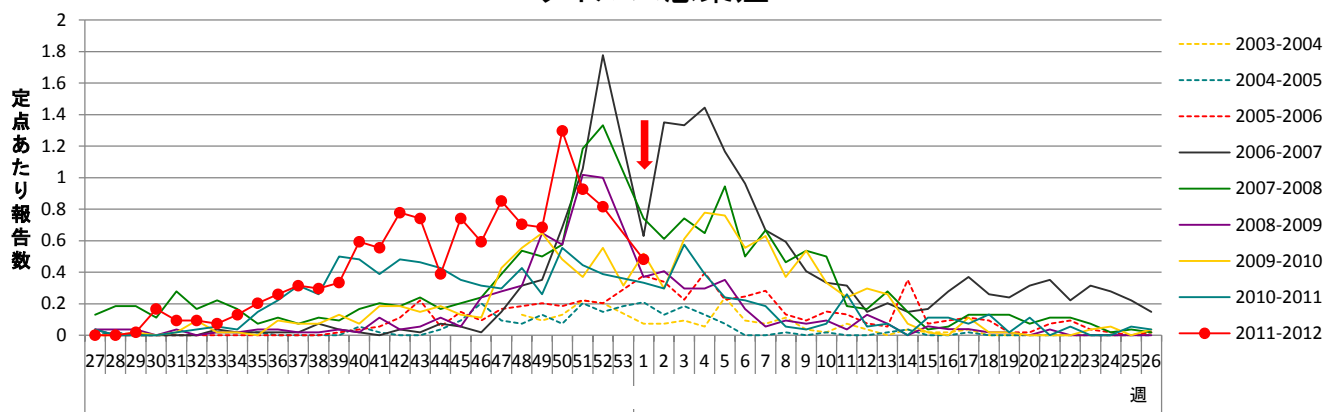
2012 年 1 週

分類	疾病名	2012		2011	疾病名	2012		2011	疾病名	2012		2011
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	-	-	498	ジフテリア	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-		-	-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	-	1	腸管出血性大腸菌感染症	-	-	64
	腸チフス	-	-	-	パラチフス	-	-	-		-	-	-
四類	E型肝炎	-	-	1	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	-	3
	エキノкокクス症	-	-	-	黄熱	-	-	-	オウム病	-	-	-
	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-	キャサヌル森林病	-	-	-
	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-	コクシジオイデス症	-	-	-
	サル痘	-	-	-	腎症候性出血熱	-	-	-	西部ウマ脳炎	-	-	-
	ダニ媒介脳炎	-	-	-	炭疽	-	-	-	チクングニア熱	-	-	-
	つつが虫病	-	-	3	デング熱	-	-	-	東部ウマ脳炎	-	-	-
	鳥インフルエンザ	-	-	-	ニパウイルス感染症	-	-	-	日本脳炎	-	-	-
	日本紅斑熱	-	-	3	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	Bウイルス病	-	-	-
	鼻疽	-	-	-	ブルセラ症	-	-	-	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-
	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	発しんチフス	-	-	-	ボツリヌス症	-	-	1
	マラリア	-	-	-	野兎病	-	-	-	ライム病	-	-	-
	リッサウイルス感染症	-	-	-	リフトバレー熱	-	-	-	類鼻疽	-	-	-
	レジオネラ症	-	-	36	レプトスピラ症	-	-	-	ロッキー山紅斑熱	-	-	-
	五類	アメーバ赤痢	-	-	10	ウイルス性肝炎*3	-	-	9	急性脳炎*4	-	-
クリプトスポリジウム症		-	-	-	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	-	2	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	-	1
後天性免疫不全症候群		-	-	15	ジアルジア症	-	-	2	髄膜炎菌性髄膜炎	-	-	-
先天性風しん症候群		-	-	-	梅毒	-	-	9	破傷風	-	-	3
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		-	-	-	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	-	風しん	-	-	1
麻しん		-	-	4		-	-	-		-	-	-

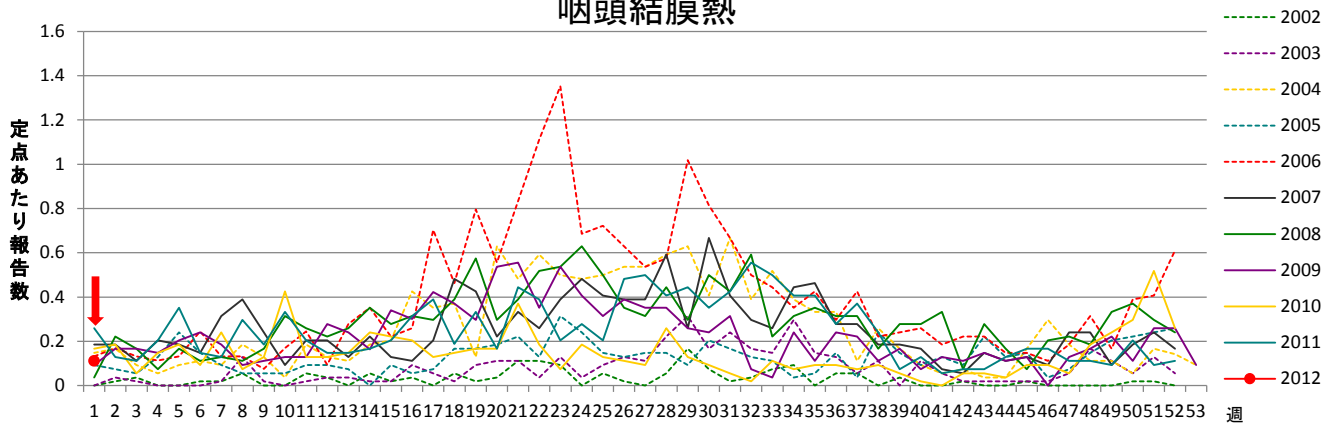
インフルエンザ



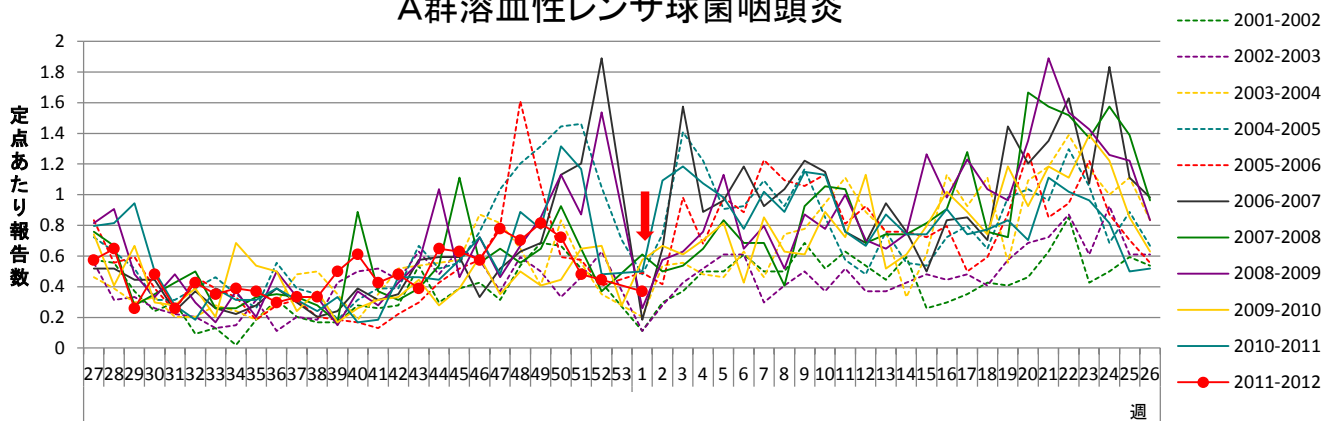
RSウイルス感染症



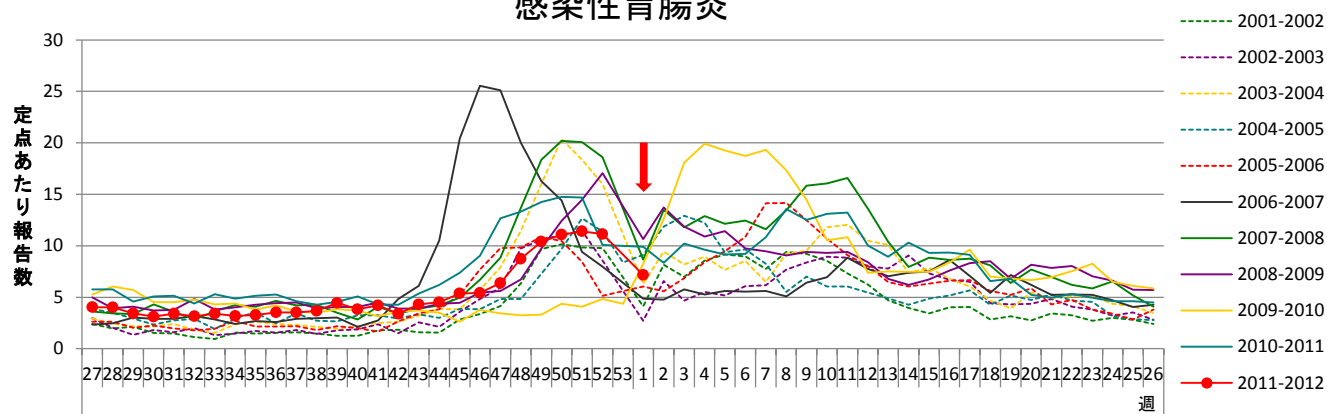
咽頭結膜熱



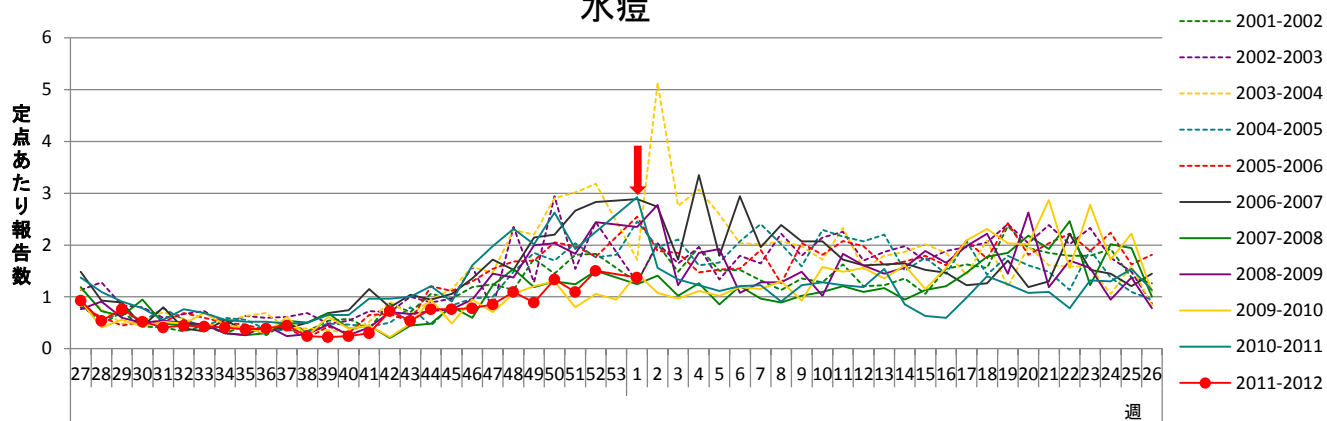
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



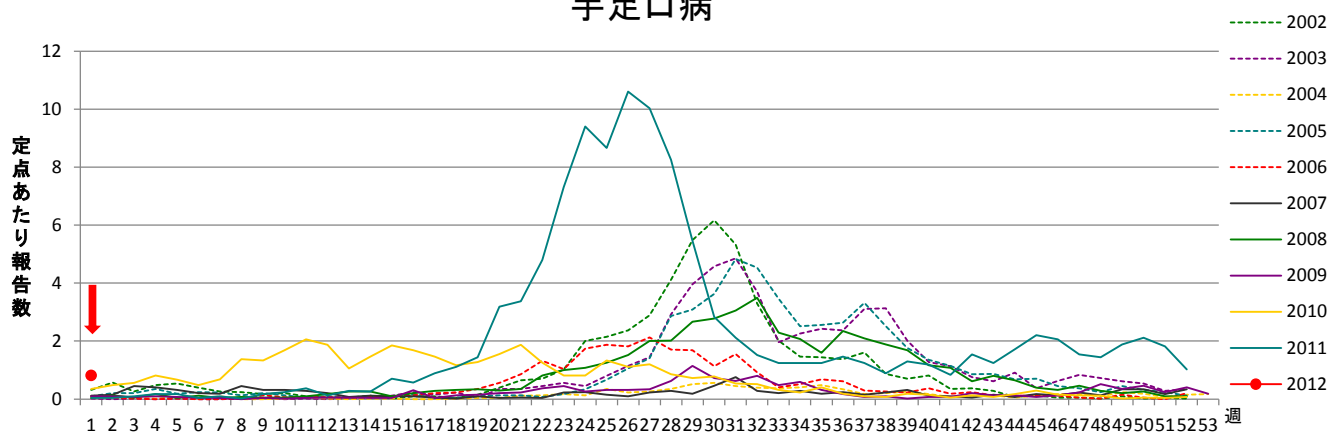
感染性胃腸炎



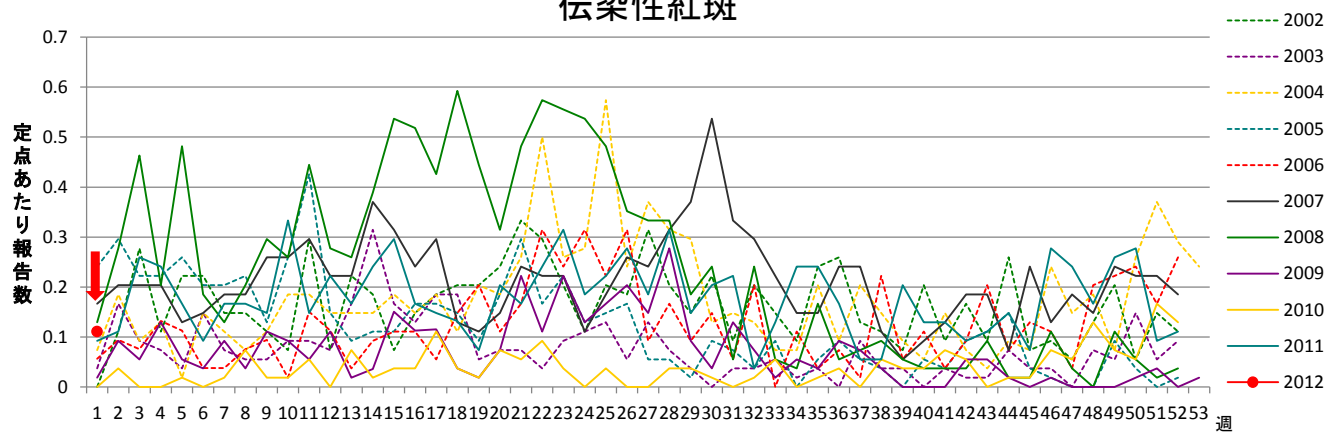
水痘



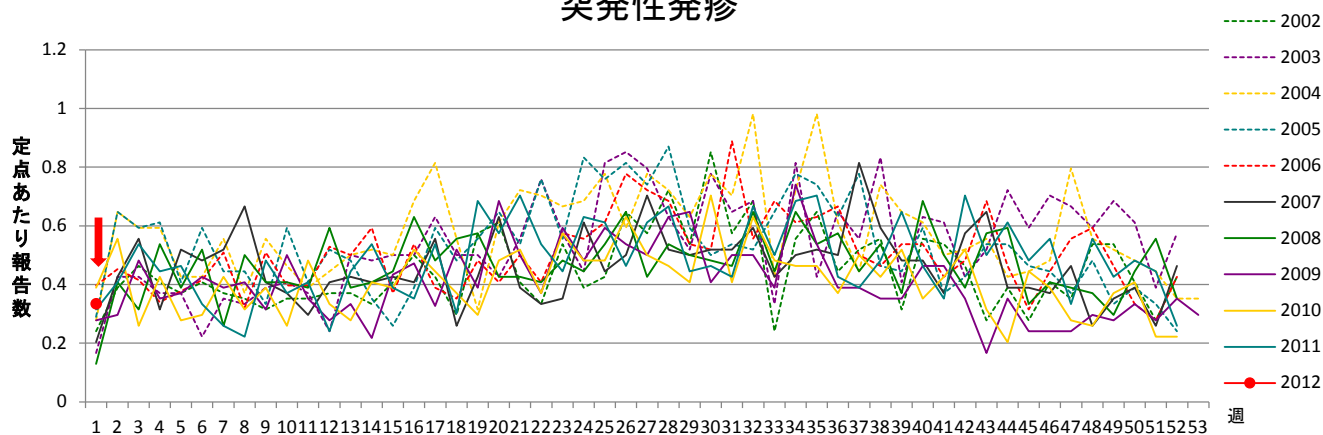
手足口病



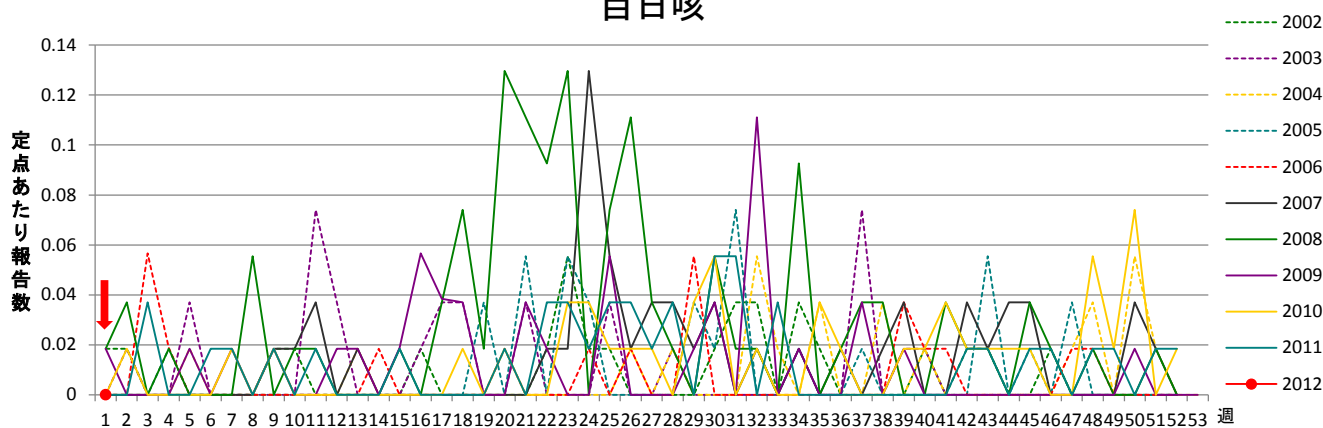
伝染性紅斑



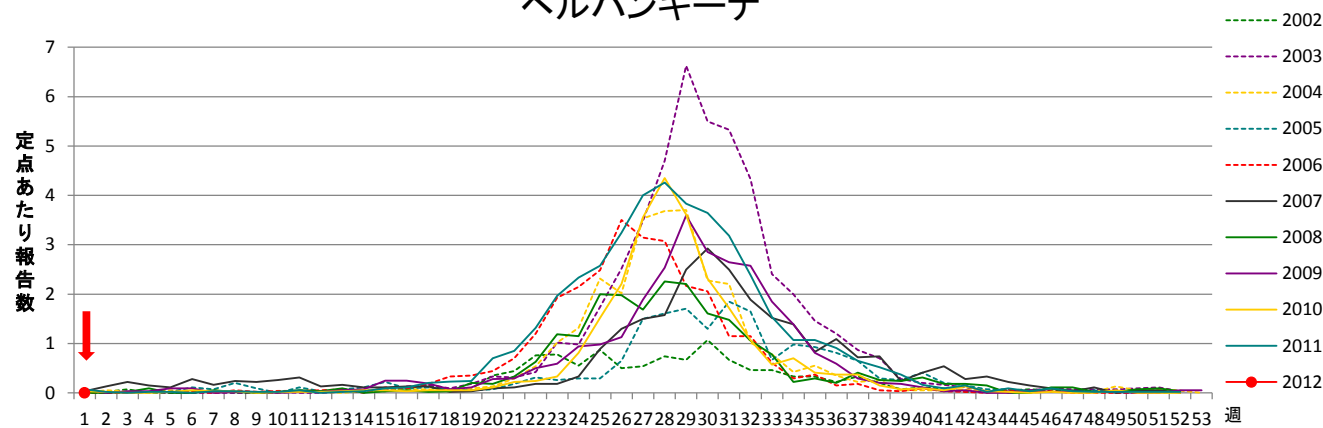
突発性発疹



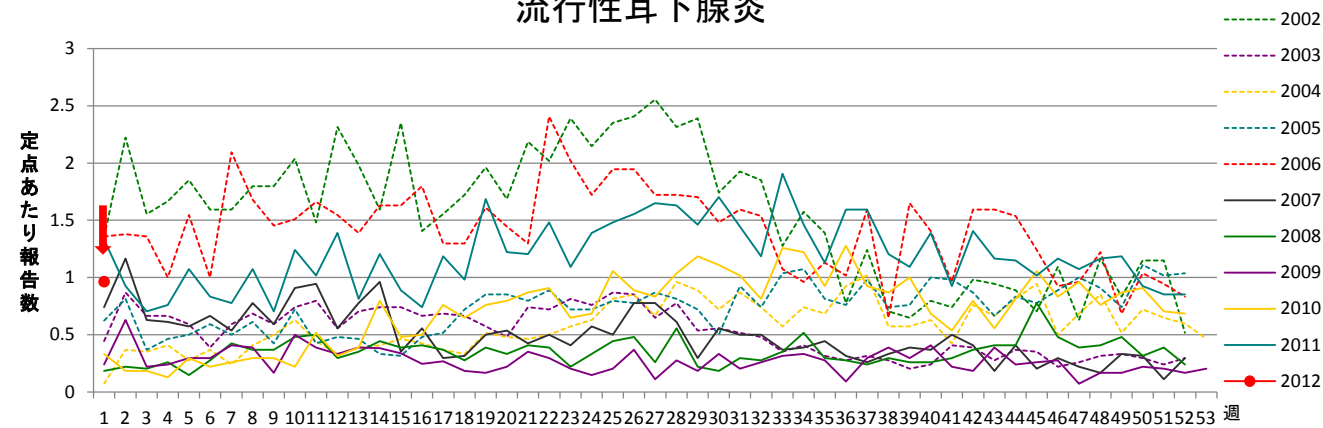
百日咳



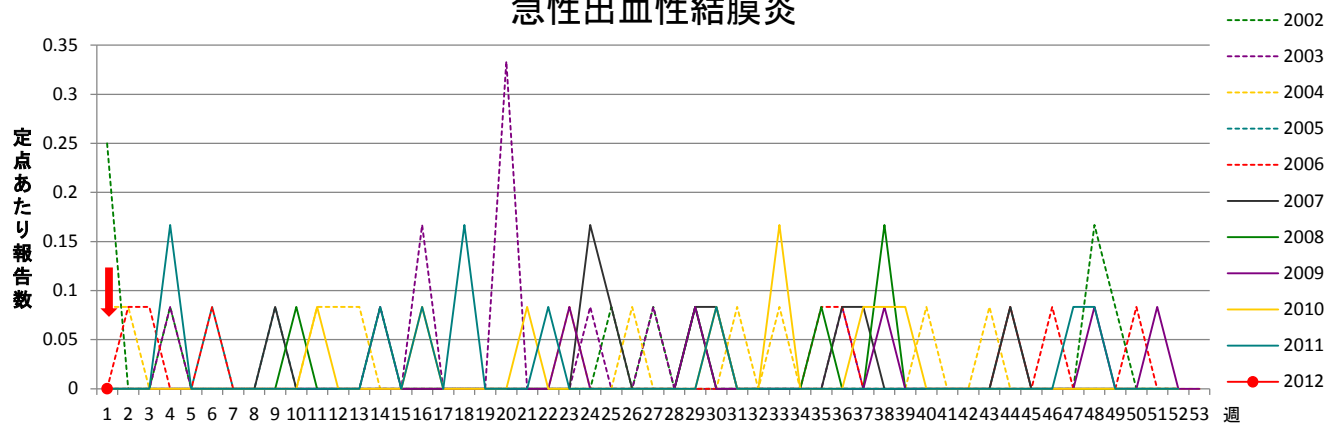
ヘルパンギーナ



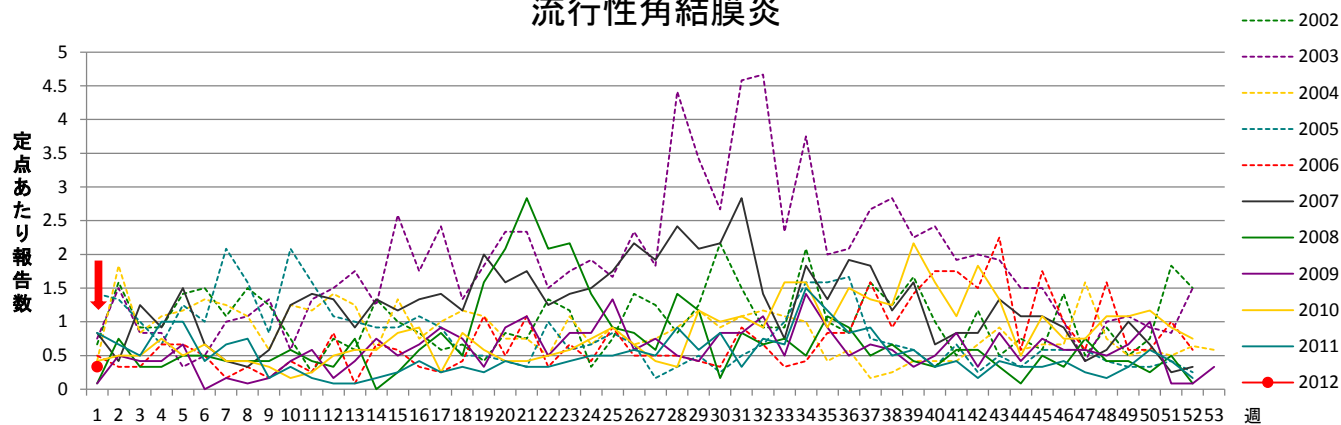
流行性耳下腺炎



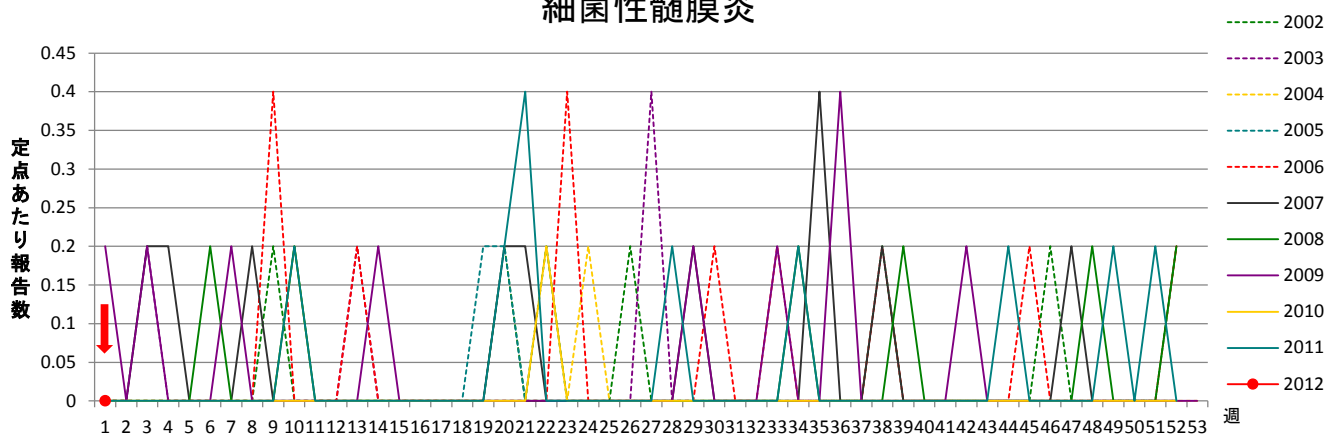
急性出血性結膜炎



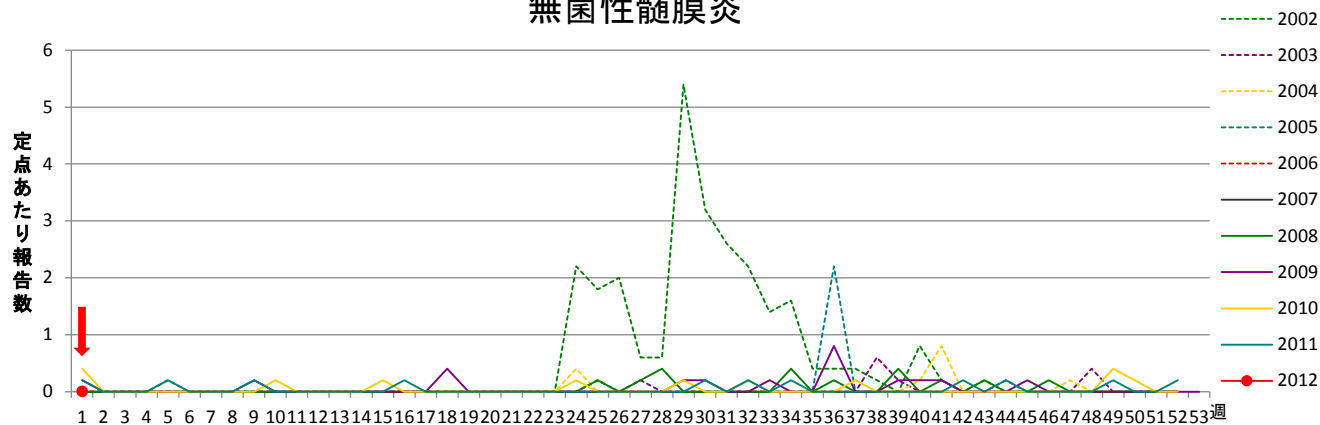
流行性角結膜炎



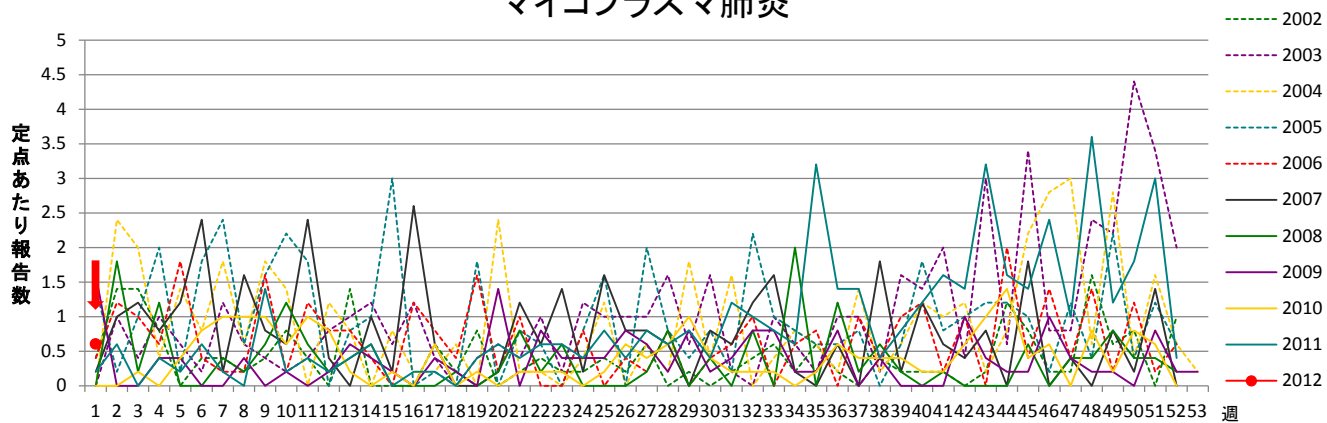
細菌性髄膜炎



無菌性髄膜炎



マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎

